

豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第8号

発行日 2015.6.12

平成27年5月 景気天気図 “経済の好循環への足掛かり、一面の晴れ模様”

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

本調査は、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協同して半年に1回（5月/11月）、豊田市に居住もしくは勤務されている個人の方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府「景気ウォッチャー調査」（街角景気）に準じて実施し、その直近4月調査の全国と東海地区の結果と比較し、とりまとめました。

尚、特別調査として前回に引き続き、豊田市の消費意欲と幸福感を調査し、更に豊田市という街に関する意識調査も実施しました。行政に対しても、皆様から寄せられた施策案を還元して参ります。

『調査概要』

調査期間：平成27年5月7日～27日
 調査モニター数：300名
 有効回答数：236名 **有効回答率：78.7%**

『景気実感調査事項』

(DI指数)

- ・ 2～3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか？ ⇒ (現状判断DI)
- ・ 今から2～3ヶ月後までの景気の推移をどう予想していますか？ ⇒ (先行き判断DI)
- ・ 現在の景気水準をどう判断されますか？ ⇒ (水準判断DI)

『DIの算出方法』

評価段階		5	4	3	2	1
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数		1	0.75	0.5	0.25	0

5段階評価での回答数集計⇒評価別回答数の構成割合（100%比）を算出⇒構成割合に上記の付与点数を掛けて合計値を算出＝DI値です。DIは景気の動きについての“人気投票”とも言えます。

『豊田市の27年5月 景気天気図』

	現状判断DI				先行き判断DI				水準判断DI			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	55.1	54.0	59.6	54.9	55.3	56.3	61.5	56.0	53.9	55.8	73.1	55.7
全国	53.2	52.8	58.1	53.6	53.9	53.1	59.5	54.2	48.5	51.2	60.9	50.3
東海	51.5	—	—	52.5	53.8	—	—	54.3	47.5	—	—	51.0

【天気図の見方】 大きな晴れ：DI 60点以上／晴れ：DI 50～60点未満／曇：DI 40～50点未満／雨：DI 40点未満

『平成27年5月調査の総括』

現状・先行き・水準判断は、前回調査時（26年11月）比全面的に改善を示し、DI50台主体ながら“一面の晴れ模様”となりました。中でも雇用の高いDIが目立ちました。

特別調査の結果、所得増の確信者や消費意欲を高める者が増えるといった実体的な動きこそ観察されなかったものの、所得増の期待感が高まっている事が確認できました。プレミアム付商品券の購入意欲も高いものがあります。

これらから、実体面に裏打ちされたとまでは言えないものの、好循環の足掛かりと言える調査結果と見られます。

また、今回は、直近4月調査の全国、東海地区をほぼ全面的に上回っており、豊田市が全国の中で、経済の好循環実現に向けて先頭に立っていることは間違いないようです。

なお街創りに関しても、“この街が好きだから高い関心を持つ”との視点からの真摯な意見提言が見られます。

現状判断総合DIは「54.9」 ～全業種晴れ、回復実感が広く浸透！～

(1) 現状判断DI

【平成26年11月：前回調査】

【平成27年5月：今回調査】

	現状判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	48.2	46.2	61.5	48.2
全国	42.3	46.2	50.0	44.0
東海	42.3	—	—	44.5

景気天気は全面的に晴れ。昨11月対比では、既に高水準の雇用を除き大幅に改善。細目では、私達の生活に身近な小売・飲食が大幅に改善しています。また、全国・東海対比でも上回りました。但し細目では、小売、非製造業が全国を下回っています。

	現状判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	55.1	54.0	59.6	54.9
全国	53.2	52.8	58.1	53.6
東海	51.5	—	—	52.5

<回答別構成比>

構成比		良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI
本調査	豊田	1.7	26.7	61.9	8.9	0.8	54.9
内閣府	全国	2.4	29.2	52.1	12.9	3.4	53.6
	東海	3.1	25.2	54.0	14.2	3.5	52.5

(2) 業種別比較 (※DIが50以上に網掛け表示)

業種	豊田市 (A)	全国 (B)	(A) - (B)	東海 (C)	(A) - (C)
家計動向関連	55.1	53.2	+ 1.9	51.5	+ 3.6
小売関連	53.4	53.5	▲ 0.1	—	—
飲食関連	52.5	47.7	+ 4.8	—	—
サービス関連	57.4	53.8	+ 3.6	—	—
住宅関連	57.5	52.7	+ 4.8	—	—
企業動向関連	54.0	52.8	+ 1.2	—	—
製造業	54.9	50.3	+ 4.6	—	—
非製造業	51.8	54.6	▲ 2.8	—	—
雇用関連	59.6	58.1	+ 1.5	—	—
合計	54.9	53.6	+ 1.3	52.5	+ 2.4

(3) コメント紹介 +：回復感あり -：回復感なし

- + 来店客増加傾向。平日も徐々にではあるが、忙しくなってきた。(一般レストラン経営者)
- + 工場用地等拡張希望の企業も出てきており、個人住宅用地も取得希望者が多くなってきた。(不動産経営者)
- + 平成27年4月の社会保険被保険者資格取得者数は、前年同月比で56.4%の大幅増となっている。(職業安定所職員)
- 買い上げ単価が上がっていない。高級品の注文が少ない。(スーパー店長)

先行き判断総合DIは「56.0」 ～不透明感の払拭、幅広く鮮明に！～

(1) 先行き判断DI

【平成26年11月：前回調査】

【平成27年5月：今回調査】

	先行き判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	46.4	48.4	53.8	47.6
全国	45.4	48.3	50.4	46.6
東海	43.0	—	—	45.5

景気天気は全面的に晴れ。中でも雇用、住宅がDI60台です。昨11月対比でも全ての業種で力強く大幅に改善しました。また、これまで弱かった家計も晴れに転じました。全国・東海対比でも上回りました。但し細目では、小売、飲食が全国を下回っています。

	先行き判断DI			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	55.3	56.3	61.5	56.0
全国	53.9	53.1	59.5	54.2
東海	53.8	—	—	54.3

<回答別構成比>

構成比		良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
本調査	豊田	2.5	31.4	54.7	10.6	0.8	56.0
内閣府	全国	2.2	29.7	53.9	11.4	2.9	54.2
	東海	0.9	33.2	50.4	13.3	2.2	54.3

先行き判断の続き

(2) 業種別比較 (※D I が50以上に網掛け表示)

業種	豊田市 (A)	全国 (B)	(A) - (B)	東海 (C)	(A) - (C)
家計動向関連	55.3	53.9	+ 1.4	53.8	+ 1.5
小売関連	52.1	54.1	▲ 2.0	-	-
飲食関連	52.5	54.3	▲ 1.8	-	-
サービス関連	59.1	54.5	+ 4.6	-	-
住宅関連	60.0	49.4	+ 10.6	-	-
企業動向関連	56.3	53.1	+ 3.2	-	-
製造業	55.9	51.2	+ 4.7	-	-
非製造業	57.1	54.8	+ 2.3	-	-
雇用関連	61.5	59.5	+ 2.0	-	-
合計	56.0	54.2	+ 1.8	54.3	+ 1.7

(3) コメント紹介 + : 回復感あり - : 回復感なし

- + 自動車産業の好調振りが顕著で、出張も増加傾向にある事を感じる為。(都市型ホテル従業員)
- + 電話での問い合わせが例年は減少する時期であるが、依然として多くある。(住宅関連経営者)
- + 賞与水準の向上に伴う個人消費の活性化が今後期待できる。(輸送用機械器具従業員)
- 資材高騰と労働者不足、若年者不足で仕事量も増やすことができない。(建設業経営者)

水準判断総合D I は「55.7」 ～足元の景気実感、劇的改善！～

(1) 水準判断D I

【平成26年11月：前回調査】

【平成27年5月：今回調査】

	水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	45.8	47.3	61.5	47.3
全国	38.9	46.2	54.8	42.1
東海	39.2	-	-	43.7

景気天気は全面的に晴れ。特に雇用がDI70台となりました。昨11月対比、豊田・全国・東海いずれも大幅改善となりました。中でも豊田における飲食と雇用が際立った改善となりました。また、全国・東海対比でも全業種で上回り、豊田の足元景気の優位性を窺い知ることができます。

	水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合
豊田	53.9	55.8	73.1	55.7
全国	48.5	51.2	60.9	50.3
東海	51.0	-	-	51.0

<回答別構成比>

構成比		良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	D I
本調査	豊田	3.4	33.1	48.3	13.6	1.7	55.7
	内閣府	3.3	26.3	45.2	18.8	6.5	50.3
	東海	4.4	26.1	45.6	16.8	7.1	51.0

(2) 業種別比較 (※D I が50以上に網掛け表示)

業種	豊田市 (A)	全国 (B)	(A) - (B)	東海 (C)	(A) - (C)
家計動向関連	53.9	48.5	+ 5.4	47.5	+ 6.4
小売関連	51.3	47.2	+ 4.1	-	-
飲食関連	57.5	42.8	+ 14.7	-	-
サービス関連	55.7	51.5	+ 4.2	-	-
住宅関連	57.5	53.0	+ 4.5	-	-
企業動向関連	55.8	51.2	+ 4.6	-	-
製造業	56.6	50.0	+ 6.6	-	-
非製造業	53.6	51.9	+ 1.7	-	-
雇用関連	73.1	60.9	+ 12.2	-	-
合計	55.7	50.3	+ 5.4	51.0	+ 4.7

次回調査は、平成27年11月に実施いたします。

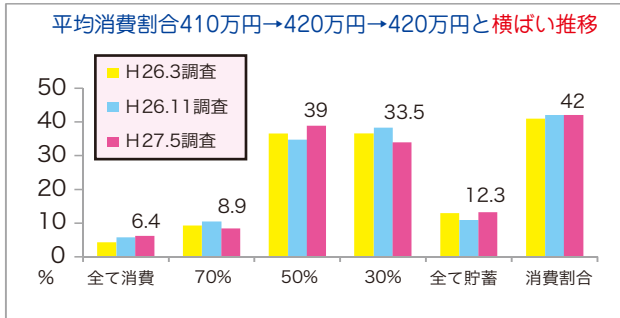
本調査に関するご意見、ご要望等ありましたら事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局】

豊田商工会議所 深見 0565-32-4593
豊田信用金庫 高橋 0565-36-1384

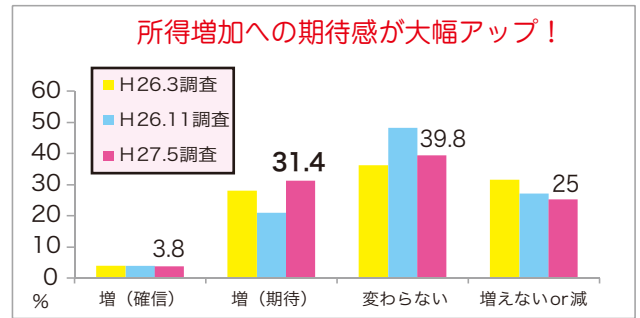
豊田市における消費意欲・所得見通し・幸福度の調査

宝くじ1000万円が当たった場合、何%を消費に回しますか？



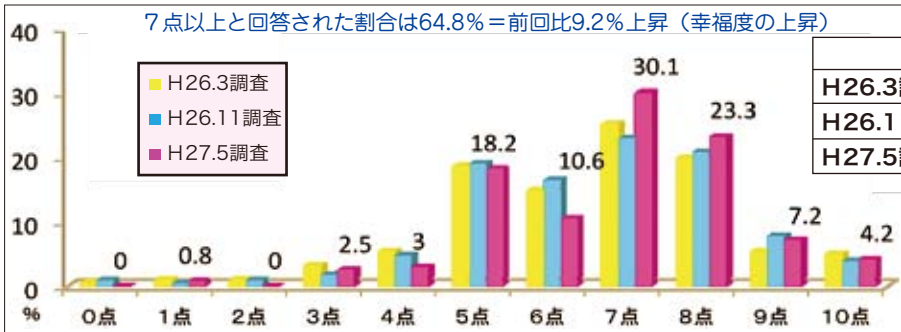
昨11月対比で消費意欲は横ばいとなっております。但し“消費割合50%以上”が増加(+3.4P)する一方で、“全て貯蓄”も増加(+1.4p)。消費意欲にばらつきが見られます。

所得は増えていくと思いますか？



昨11月対比“所得増(確信)”は変わらず、“変わらない”“増えないor減少”が“所得増(期待)”(+10.5%)に転じています。所得増への期待感の高まりが見てとれます。

あなたはどの程度幸せですか？ とても幸せを10点・とても不幸を0点とし幸福度を調査 ⇒ **幸福度上昇を確認！**



単位：%

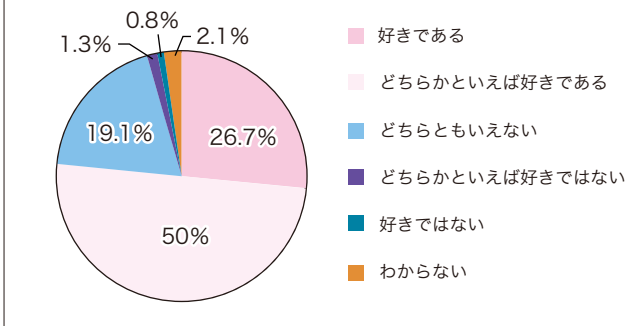
	0点～	4点～	7点～
H26.3調査	5.5	38.9	55.6
H26.11調査	4.0	40.4	55.6
H27.5調査	3.3	31.9	64.8

今回幸福度の上昇が顕著です。景気実感改善や所得増期待感の高まりに伴い、幸福度も高まった可能性が窺えます。景気と所得と幸福度の一定の相関を感じさせる結果となりました。

豊田市という街の好感度とプレミアム付き商品券の購買意欲

今後も住み続けたいかどうかという目線で、豊田市の好感度(好きか否か)を調査 ⇒ **8割弱の方が好きと回答！**

豊田市に好感を持つ方は実に76.7%！ 愛される豊田を再確認。



【コメント紹介】 (+: 好感あり ☆: 改善提言)

- + 安定した産業がある企業城下町として、他都市より安心感があり、豊富な自然と適度な町並みが共存出来ている。
- + 市の財政状況が良好で、市民の急激な税負担増加の可能性は他都市に比べ少ないと思われる。
- + 農業、工業のバランスが良く、適度に都会、田舎である。
- + 自治区の行事やサークル活動が活発で、近隣の人たちとの付き合いが上手くいっている。
- ☆ 子供からお年寄りまでが一日ゆっくり遊べる施設がない。特に若者が遊ぶ場所がない。
- ☆ 名古屋までの交通の便が悪い。魅力ある大型ショッピングモール等もなく、市外まで買い物に行かなくては行けない。
- ☆ 街づくりの構想にもっと市民の意見を取り入れるべき。

より良い街になるための取組みについて、意見を頂きました。

～インフラの一層の充実～

- 公共交通機関と駐車場の拡充が必須である。車がないとどこにも行けない。
- 交通渋滞の解消、車道や歩道が狭い場所が多いので改善して欲しい。
- 名古屋までのアクセスの向上は喫緊に取り組んでほしい。
- 大規模娯楽・商業施設を誘致すべき。外から人を呼び込む施策が必要です。
- 総合病院の充実、特に豊田市南部に必要である。
- 鞍ヶ池スペシャルプログラムと題し、オアシス鞍ヶ池として娯楽施設、プール、地産地消のアウトレットモールなど計画して欲しい。

～その他～

- 少子化、高齢化対策の一層の充実に取り組むべき。特に子育て支援を。
- 若者への技術伝承など、モノ作りに関する市を挙げての支援を展開すべき。
- 行政による安価で質の高いサポートの提供が全ての面で更に求められる。
- 人口減少を抑える為にも、財源に恵まれている豊田だからこそ出来る独自の特色ある支援策を打ち出して欲しい。他都市の真似事だけでは人口は増えない。

プレミアム付き商品券の購買意欲 調査

実に85%以上の方がご購入を検討されています。
→ 地域内での消費拡大が期待されます！

